

◆ 平成 26 年度（後期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	学科長 高等教育推進部 門学科委員 学科教務委員	①研修は学科教員会議 （毎月第1,3火曜日） ②実習は計画が整った段階 で、随時。（一部は月曜2限 に実施開始）	①学科の教員会 議（会議室） その他 ②1925 研究室	テーマ アクティブラーニングを取り入れたグローバル人材育成のための支援検討 実施目的 外国人留学生（交換留学生）との交流学修を主とした学年を超えた定期的な学修機会の設定と学生の自主的運営を支援する仕組みの研究研修 実施内容 （キーワード：アクティブラーニング、学修支援） 交換留学生との交流（国内に居ながらグローバル人材育成につながる国際交流）を通して日本の社会・文化の理解を見直す機会を作る。学年を超えた学生の自主的運営やサポート体制を研究する。
保健福祉学部 看護学科	山中道代	12月24日（水） 13:00～16:00	保健福祉学部 講義室	テーマ 議論を「見える化」する技法を身につけるための取り組み 実施目的 看護学科では、シミュレーション教育の導入・強化のために、ファシリテーションやデブリーフィング技術などの学びを引き出す技術の習得を目指してきた。前期は議論の内容を可視化するためのファシリテーション・グラフィックについて抄読会や模擬会議を通じて学習した。後期は、講師を招いて研修会を行い、さらに内容を深めることでグループワーク等への活用を目指す。 実施内容 （キーワード：ファシリテーション・グラフィック、ロジカル・ディスカッション） ファシリテーション・グラフィックについて、講義・演習を併せて3時間程度の研修会を計画している。具体的な実施内容については、今後講師（九州大学大学院総合新領域学府客員准教授 加留部貴行先生）と打ち合わせを行う。
保健福祉学部 看護学科 教育課程検討会	松森直美	10月以降、2月頃まで 1回/月の開催を予定	会議室等	テーマ 看護職としての社会人基礎力を考える 実施目的 経済産業省は、社会人基礎力の必要性を発表した。①社会人基礎力とは何か、看護教育における社会人基礎力とは何か、などについて理解を深め教育・指導に役立てることを目的とする。 実施内容 （キーワード：社会人基礎力、看護職） 「看護職としての社会人基礎力の育て方」の抄読により、社会人基礎力向上に向けた関わり方について検討する。
保健福祉学部 理学療法学科	田中聡学科長	・学科会議時の討議・検討は 毎週水曜日・4時限目 ・勉強会としては月1回第2 水曜日・4時限目 ・臨床実習指導者会議時の ワークショップは平成26年 1月末	三原キャンパス 2号館2406会議 室および2313講 義室	テーマ 理学療法学科における学内および臨床教育の改善 実施目的 学生の学内および学外（臨床実習）での学習を支援する。また、学科教員の教育方法論に関する知識・技術を深める。また、臨床実習指導者議時にワークショップを開催し、学内教育と臨床教育の溝を埋める。 実施内容 （キーワード：学習支援、臨床実習、教育方法） ① 臨床実習中の学生の学習支援、および学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援について対応を討議する。 ② 主として教育方法に関わる勉強会を実施する。 ③ 臨床実習指導者会議時に教員と実習指導者としてワークショップを開催する。 その他 勉強会の場合は学部全体に事前に内容等についてメールにて案内し、他学科よりの参加者を認める。

<p>保健福祉学部 コミュニケーション 障害学科</p>	<p>渡辺眞澄 津田哲也</p>	<p>詳細日程は調整中 毎回の開始時間は 12 : 10～</p>	<p>1309 演習室 その他</p>	<p>テーマ 教員および実習指導者の研究・教育方法の共有と向上 実施目的 コミュニケーション障害学科の教員間, および教員と学外実習施設の言語聴覚士との間で, 各々が行っている研究・教育・指導方法の工夫内容を共有することにより, 研究・教育の向上をはかる。 実施内容 (キーワード: 研究, 教育の工夫, 研究会報告) 教員が行っている研究の紹介, 教育における工夫, 参加した学会・研究会の報告, 意見交換を行う。後期は, 耳鼻咽喉科学, 発声発語障害, 脳画像研究, 言語発達障害等に関する研究紹介が予定されている。実施はおよそ月に 1 回のペースで行う。</p>
<p>保健福祉学部 人間福祉学科</p>	<p>江本純子</p>	<p>授業時間内に実施</p>	<p>いずれも三原キャンパス内で実施</p>	<p>テーマ 福祉士養成教育再考: 高水準の福祉を実現できる人材の養成をめざして 実施目的 社会福祉士の教育課程では, 福祉サービスを取りまく環境が大きく変化していることを踏まえ, 現在の状況に的確に対応できる高い実践力養成が求められ, 実習・演習教育の充実が図られている。そこで, 人間福祉学科が理念として掲げる「地域のリーダーとして活躍できる専門家を養成」し, 学生が主体的に問題発見し, 解を見出す教育をすすめるため, 学科内で授業公開を実施する。 実施内容 (キーワード: アクティブラーニング, 授業公開, 福祉士養成教育) 年間を通じ, 20 回授業公開をする予定</p>